

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-C3400X



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこなうなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

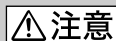
警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠警告・⚠注意	4
はじめに	7
まず、本機をリセットする	8
時計を合わせる	9
各部のなまえ	10
CD・ラジオの聞きかた	12
ロータリーコマンドーの操作	14

CD・MD

CD/MDを聞く	16
繰り返し聞く(リピート再生)	19
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	20
CDに名前をつける(ディスクメモ/ カスタムファイル)	21
CDの聞きたい曲だけを聞く (バンク/カスタムファイル)	23
ディスクを名前で探す(リスト)	25

ラジオ

放送局を自動で登録する	26
特定の放送局を登録する	29
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	30
放送局を名前で探す(リスト)	32

テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る	33
放送局やディスクの情報を見る (リスト)	35
別売りのビデオを見る	36
映像を見ながらディスクを聞く (サイマルプレイ)	37

その他の操作

音のバランスや音質を設定する (バランス/フェーダー) (バス/トレブル)	38
重低音を強調する	39
音や表示などの設定を変える	40

使用上のご注意	42
カードリモコン RM-X91(別売り)	43
故障かな?	45
CD/MDのエラー表示	47
保証書とアフターサービス	48
主な仕様	49



火災

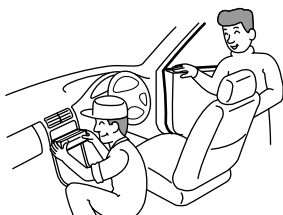


感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の
「取り付けと接続」の説明に従って、正し
く取り付けてください。正しい取り付けを
しないと、火災や感電の原因となります。

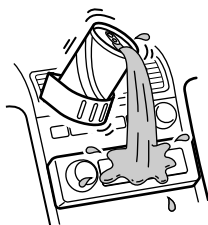


内部に水や異物を落とさない

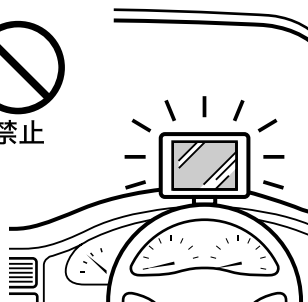
水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



禁止

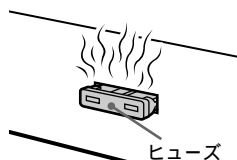


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のものを
お使いください。規定容量を越えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。



禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディス
プレイやモニターを取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの
原因となります。また、取り付け場所
が、助手席用エアバッグシステムの動作の
妨げにならないことを確認してください。

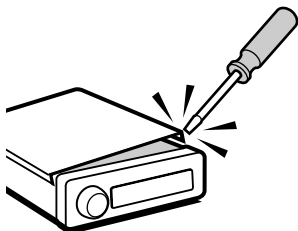
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店または
ソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



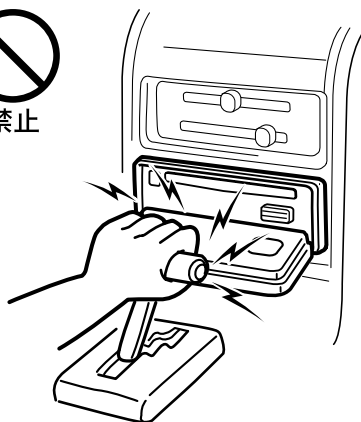
走行中はフロントパネルを開けない

車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、CDの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。

また、フロントパネルを開けてから走行してください。



禁止



注意

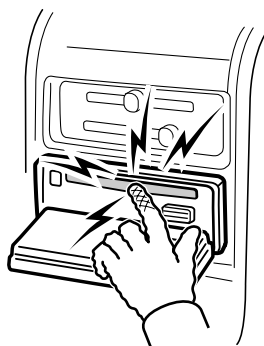
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止



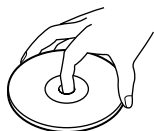
結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

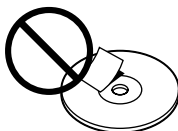
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスをお申しつけください。

コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。

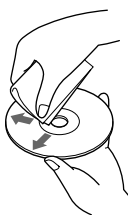


ディスクに紙など貼らない。
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



- 再生する前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。

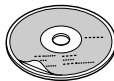
こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。
- 本機ではCD（円形ディスク）のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形やハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。



CD-Rについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R（レコーダブル）ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したCD-RレコーダーやCD-Rディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-Rディスクは再生できません。
- CD-RW（リライタブル）ディスクは再生できません。

はじめに

- 本機はCDとラジオのメディアに対応。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

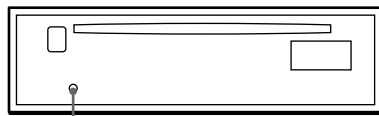
また、以下に記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- テレビ、ビデオ

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのロータリーコマンダーおよびカードリモコン、別売りのCD/MDチェンジャー、テレビ、ビデオを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押す。



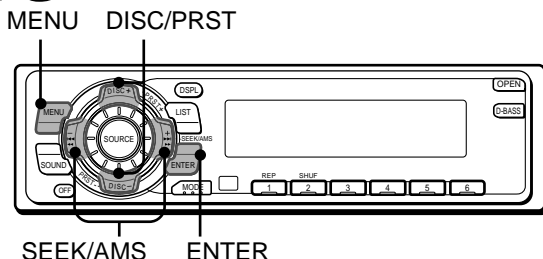
リセットボタン

ご注意

- リセットボタンを針のような物で強く押すと故障の原因となります。
- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えるものがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、モーションディスプレイをOFFにしてください。(41、42ページ)

時計を合わせる

本機は12時間表示です。

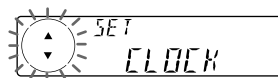


時計

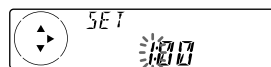
1 車のイグニッションキーをONにする。

2 MENUボタンを押す。

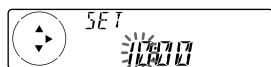
3 DISC/PRSTボタンを
繰り返し押して、
「CLOCK」を表示させる。



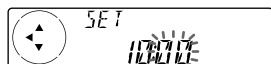
4 ENTERボタンを押す。



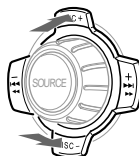
① DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「時」を合わせる。



② SEEK/AMSボタンの
+側を押す。



③ DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「分」を合わせる。



ちょっと一言

お買い上げ時には、OFFボタンを押すと時間表示になるように設定されています。CDやラジオを聞きながら時間表示を見るには、「D.INFO」の設定を「ON」にしてください。くわしくは40ページをご覧ください。

5 設定後、ENTERボタンを押す。

時計がスタートします。

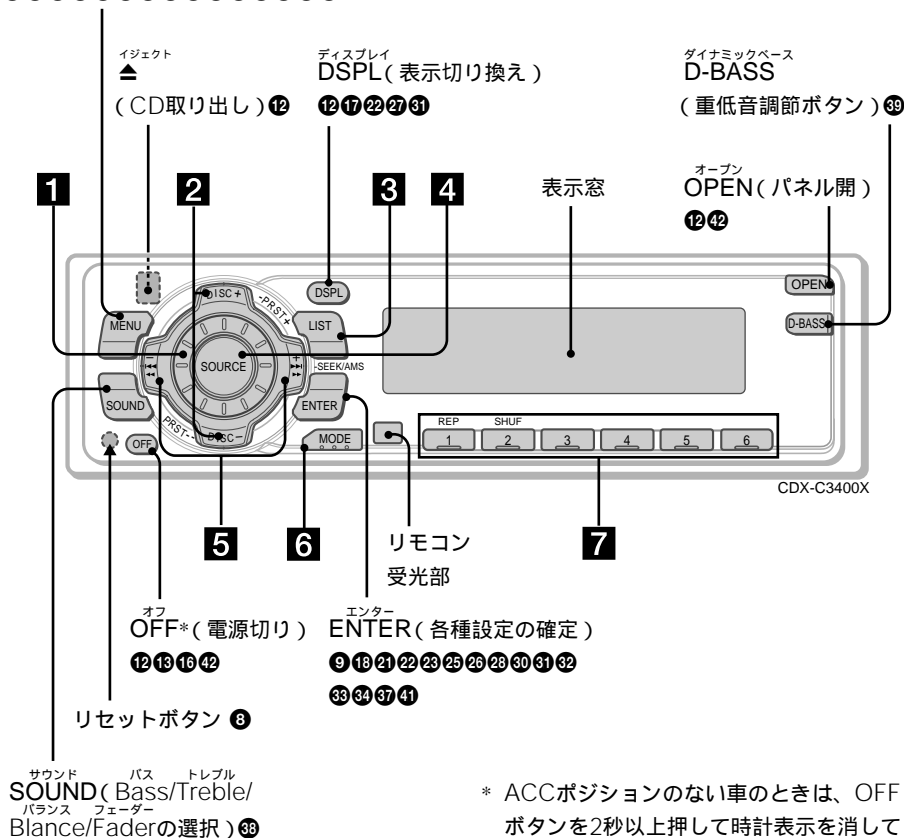
各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。

メニュー
MENU

(各種設定モードに入る)

● 9 ● 16 ● 18 ● 21 ● 22 ● 23 ● 24 ● 26 ● 28 ● 30 ● 31 ● 33 ● 34 ● 37 ● 41

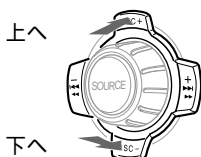


* ACCポジションのない車のときは、OFF
ボタンを2秒以上押して時計表示を消して
ください。OFFボタンを短く押しただけで
は時計表示が消えず、バッテリーあがりの
原因となります。

1 ボリューム（音量調節）ダイヤル 12 13



2 ディスク/プリセット DISC/PRST(ディスク選択/ラジオ選 局/メニュー項目選択)



CD/MD ディスクの選択 **17**

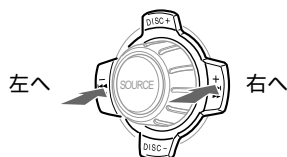
ラジオ/TV 登録した局の選局 **26 33**

3 リスト LIST

ラジオ	放送局を名前で探す ③②/ 一覧を見る ③⑤
CD*	ディスクに名前をつける ②①/ディスクを名前で探す ②⑤/一覧を見る ③⑤
MD	ディスクを名前で探す ②⑤/ 一覧を見る ③⑤
TV	放送局の一覧を見る ③⑤

4 ソース SOURCE (ラジオ/CD/MD/TV切り換え)
13 22 26 27 29 33 34 36 37

5 シーク/エーエムエス SEEK/AMS(頭出し / ラジオ選局 / 設定項目選択)



	左	右
CD/MD	前の曲へ 早戻し(押し 続ける)⑫	次の曲へ 早送り(押し 続ける)⑫
ラジオ	周波数の低い 放送局へ(押し 続ける)⑬	周波数の高い 放送局へ(押し 続ける)⑬

6 モード MODE

チューナー TUNER (ラジオ)	FM1/FM2/AM1/AM2の切 り換え 26 27 29
CD/MD*	CD/MD機器の切り換え 16 22
テレビ TV*	TV/VIDEO切り換え 33 34 36

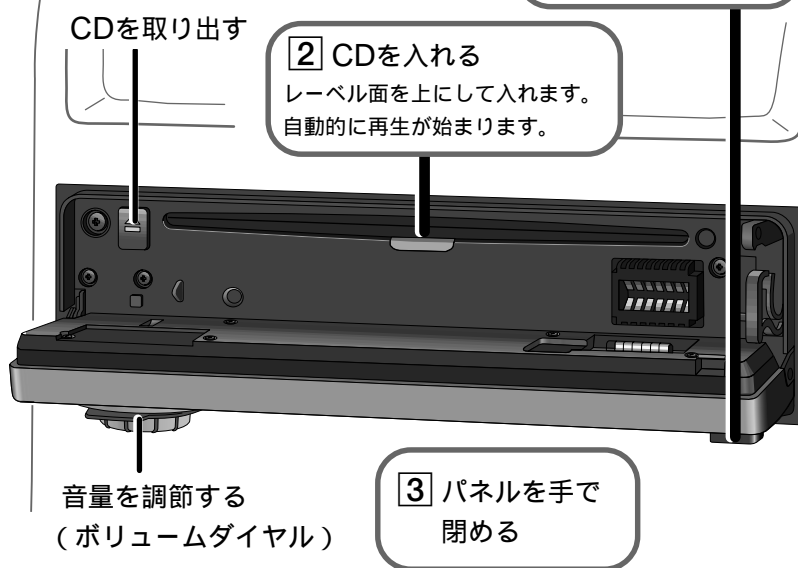
7 数字(1~6)ボタン

ラジオ	放送局の登録 / 選択 13 26 27 29
CD/MD	1(REP) リピート再生 19 2(SHUF) シャッフル再生 20
TV	チャンネルの登録 / 選択 34

* 別売りの機器が接続されているとき

CD・ラジオの聞きかた

CDを聞く



聞きたいところを探す(手動サーチ)

SEEK/AMSボタンを押しつつ、聞きたいところで離します。



曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))

SEEK/AMSボタンをとばしたい曲の数だけ短く押します。



止める / 電源を切るには
OFFボタンを押します。

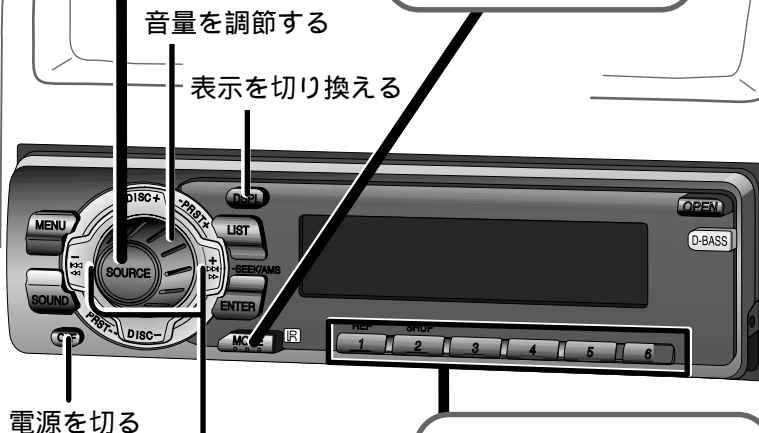
表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

本機は8cmCDがそのまま再生できます。
8cmCDにシングルアダプターをつけて再生
すると誤動作することがありますので使用し
ないでください。

ラジオを 聞く

1 ラジオ受信 にする

2 FMまたは AMを選ぶ



自動選局で受信する(自動選局)

SEEK/AMSボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

前の放送局
を探す



次の放送局
を探す

希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEK/AMSボタンを押しつづけ、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

低い周波数の
放送局を探す



高い周波数の
放送局を探す

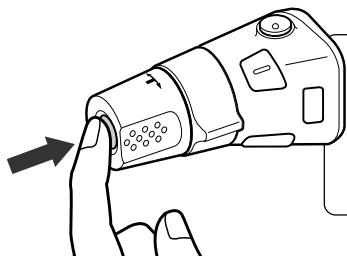
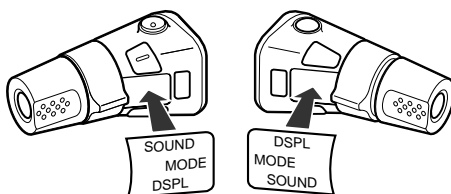
3 聞きたい 放送局を選ぶ

数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。くわしくは26、29ページをご覧ください。

ロータリーコマンダー(別売り)の操作

ロータリーコマンダーのシールについて

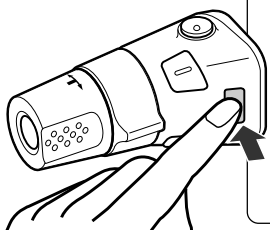
ロータリーコマンダーにはボタン名称のシールが付属されています。ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、右図のシールを貼ってください。



SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースがラジオ CD MD* TV*と切り換わります。

* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



MODEボタンを押すと

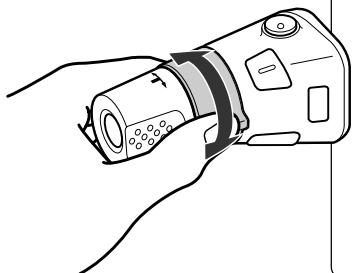
ラジオの時 : FM1 FM2 AM1 AM2 ...

CDの時 : CD1 CD2 ...

MDの時 : MD1 MD2 ...

テレビ/ビデオの時 : TV1 TV2 AUX ...

と切り換わる



SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ... 自動的に放送局を受信する

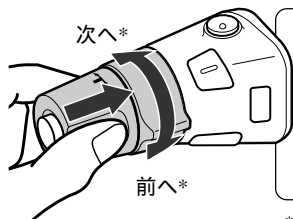
回し続けると特定の周波数に合わせられる

CD/MD... 曲の頭出しをする

回し続けると早く送られ、離すと再生に戻る

テレビ... 自動的に放送局を受信する

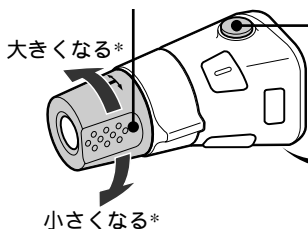
回し続けると特定のチャンネルに合わせられる



PRESET/DISCつまみを押しながら回すと
ラジオ... 登録した放送局を順に受信する
CD/MD... ディスクを切り換える
テレビ... 登録したチャンネルを切り換える

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

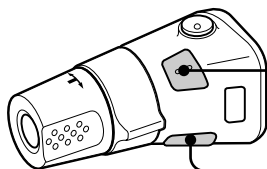
音量を調節する (VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)
解除するにはもう一度押すか、本体のダイヤルを回します。

電源を切る (OFFボタンを押す)

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

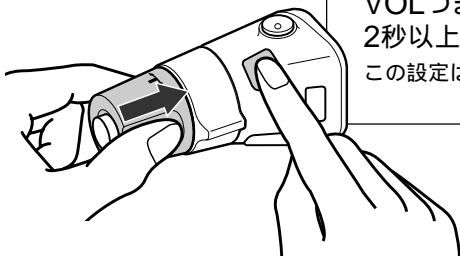


音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す)
本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

表示を切り換える (DSPLボタンを押す)
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

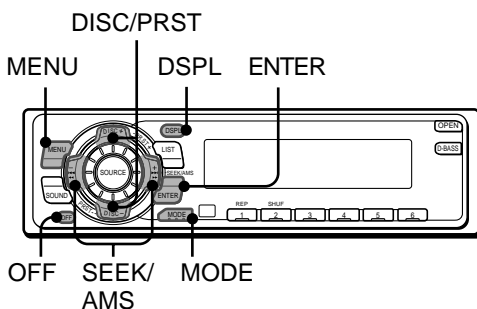
つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。
VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す
この設定は、本体でもできます (40、41ページ)。



CD/MDを聞く

本機または別売りのCD/MDチェンジャーを使って、CDやMDを再生できます。



聞きたい機器を選ぶ

再生中にMODEボタンを繰り返し押し、聞きたいCD/MD機器（本機または別売りのCD/MD機器）に切り換える。

CDの場合

CD1（本機）→ CD2（CD機器1）→
CD3（CD機器2）

MDの場合

MD1（MD機器1）→ MD2（MD機器2）→
MD3（MD機器3）

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

ご注意

- 本機ではCD TEXTに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、何文字かが表示されないことがあります。
- 漢字、ひらがな入力されたMDを再生した場合は、「NO NAME」と表示されます。

いろいろな聞きかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
聞きたいディスクを選ぶ	DISC/PRSTボタンを繰り返し押す。
聞きながら探す (サーチ)	再生中にSEEK/AMSボタンを押し続ける。 ▶▶▶▶:先に進める ◀◀◀◀:前に戻す 指を離すとそこから再生されます。
曲の頭出し	再生中にSEEK/AMSボタンを押しで離す。 ▶▶▶▶:次の曲へ進む ◀◀◀◀:曲の頭や前の曲へ戻す 戻したい曲の数だけ押します。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。

CDの再生の場合



曲番号と再生経過時間



ディスク/アーティストの名前

*1*2



曲の名前*1

(CD TEXTとMDのみ)

ちょっと一言

- DSPLボタンを押して表示を切り換えて、約10秒後にすべての表示を表示するモーションディスプレイモードに自動的になります。
- 8文字以上の名前が見られるのは、CD TEXTおよびMDに記録されている場合です。

*1 名前がついていないときは「DISC」「NO NAME」と一時表示され、ディスク名がついているときはディスク名を表示し、曲名がついているときは曲名を表示します。

また、ディスク名および曲名がついていないときは曲番号と再生経過時間を表示します。

*2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときはディスクメモの名前を表示します。

CD/MDを聞く(つづき)

ちょっと一言

オートスクロールするのは
次のときのみです。

ディスク交換をしたとき
曲を換えたとき

8文字以上の名前を表示したとき、自動的に表示をスクロールさせる

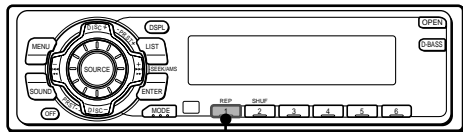
- 1 再生中にMENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「A.SCRL-OFF」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+側を押して、「A.SCRL-ON」にする。
- 4 最後にENTERボタンを押す。

オートスクロール設定をやめるには
手順3で「A.SCRL-OFF」を選びます。

繰り返し聞く

(リピート再生)

1曲のみまたはディスク全曲を繰り返し聞くことができます。



数字ボタン1

ちょっと一言

数字ボタン1 (REP) を押すごとに
REP-1 → REP-2* →
REP-OFF
と切り換わります。

* 別売りのCD機器または2
台以上のMD機器を接続
していない場合は、表示
されません。

再生中に数字ボタン1 (REP) を繰り返し押して、聞きたい設定に切り換える。

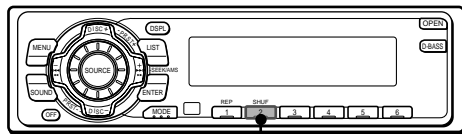
1曲のみ繰り返し出す 「REP-1」にする。
ディスク全曲を繰り返し出す (別売りのCD機器または、2台以上のMD機器を接続した場合) 「REP-2」にする。

リピート演奏が始まります。

リピート再生をやめるには
「REP-OFF」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)



数字ボタン2

再生中のディスク全曲、またはCD/MD機器内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。

ご注意

「SHUF-2」と
「SHUF-ALL」では、すべての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

ちょっと一言

数字ボタン2 (SHUF) を押すごとに
SHUF-1 → SHUF-2* →
SHUF-ALL* →
SHUF-OFF
と切り換わります。

* 別売りのCD機器または2台以上のMD機器を接続していない場合は、表示されません。

再生中に数字ボタン2 (SHUF) を繰り返し押し、聞きたい設定に切り換える。

本機のみの場合

再生中のディスクの全曲を順不同に再生する

.....「SHUF-1」にする。

別売りのCD/MD機器を接続した場合

再生中のCD/MD機器内のディスクを全曲順不同に再生する

.....「SHUF-2」にする。

本機とCD/MD機器内のディスクをまたがって順不同に再生する

- 本機のCDとCD機器
- 2台以上のMD機器

.....「SHUF-ALL」にする。

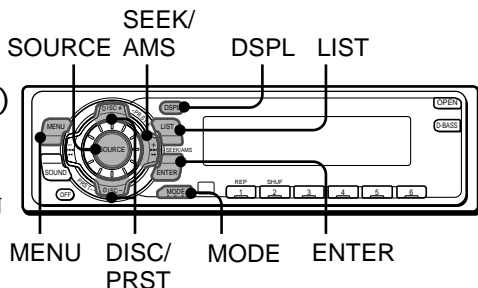
シャッフル演奏が始まります。

シャッフル再生をやめるには
「SHUF-OFF」を選びます。

CDに名前をつける

(ディスクメモ/カスタムファイル)

別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はCDチェンジャーに記録されます。



ちょっと一言

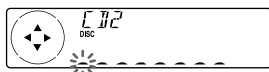
- 手順1、2の代わりにLISTボタンを2秒以上押しても、設定をはじめることができます。
- DISC/PRSTボタンの+側を押すと
A → B → C → ... Z →
0 → 1 → 2 → ... 9 → +
→ - → * → / → \ →
→ . → _
と変わります。
- DISC/PRSTボタンの-側を押すと、逆順に表示されます。
- 文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SEEK/AMSボタンの-側を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順5の代わりにLISTボタンを2秒以上押しても、設定を終えることができます。

名前をつける

1 名前を付けたいCDの再生中にMENUボタンを押す。

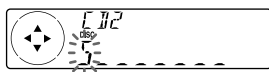
2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「NAME EDIT」を表示させる。

3 ENTERボタンを押す。



4 文字を入力する。

① DISC/PRSTボタンの+側を繰り返し押して文字を探す。



② 文字が見つかったら、SEEK/AMSボタンの+側を押す。



③ 手順①と②を繰り返して名前を入力する。

5 最後に、ENTERボタンを押す。

次のページへつづく

CDに名前をつける(つづき)

ちょっと一言

「名前をつける」(21ページ)の手順4で、すべての文字に「 _ 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

名前を表示するには

再生中にDSPLボタンを押します。

DSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。
(表示項目については、17ページをご覧ください。)

名前を消去するには

- 1 SOURCEボタンを押して「CD」を選びます。
- 2 MODEボタンを押して名前を消去したいCDが入っている機器を選びます。
- 3 MENUボタンを押します。
- 4 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「NAME DEL」を表示します。
- 5 ENTERボタンを押します。
- 6 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、消去したい名前を表示します。
- 7 ENTERボタンを2秒以上押します。
- 8 さらに他の名前を消すときは、手順6と7を繰り返します。
- 9 MENUボタンを2回押します。

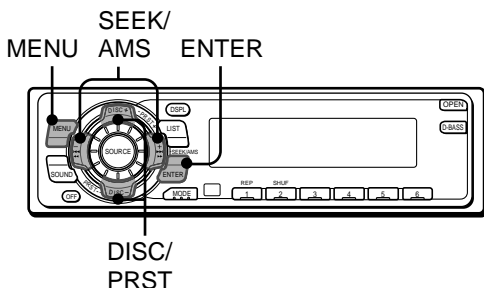
CDの聞きたい曲だけを聞く

(バンク / カスタムファイル)

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(21ページ)で名前をつけたCDのみです。

ご注意

- 「PLAY」と「SKIP」の設定は1枚のCDで24曲目までできます。
- 「SKIP」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。



とばす曲を指定する

- 1 名前をつけたCDを再生中に、MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「BANK SEL」を表示する。

- 3 ENTERボタンを押す。



- 4 SEEK/AMSボタンを押してとばしたい曲の番号を表示させて、ENTERボタンを押す。



表示が「PLAY」(再生する)から「SKIP」(とばす)に変わります。

「PLAY」に戻すときは、もう1度ENTERボタンを押します。

- 5 同様にして、とばす曲全部に「SKIP」を設定する。
- 6 最後に、MENUボタンを2回押す。

次のページへつづく

CDの聞きたい曲だけを聞く(つづき)

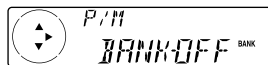
ちょっと一言

SEEK/AMSボタンの+側
を押すごとに
BANK-ON → BANK-INV
→ BANK-OFF
と切り換わります。

曲をとばしながら聞く

1 CDの再生中にMENUボタンを押す。

2 DISC/PRSTボタンを
繰り返し押して、
「BANK-ON」
「BANK-INV」
「BANK-OFF」のい
れかを表示させる。



3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押して、再
生のしかたを選ぶ。

「PLAY」(再生する)を設定した曲だけ再生する
.....「BANK-ON」にする。

「SKIP」(とばす)を設定した曲だけ再生する
.....「BANK-INV」にする。

4 ENTERボタンを押して再生する。

バンク再生をやめるには
手順3で「BANK-OFF」を選びます。

ディスクを名前 で探す

(リスト)

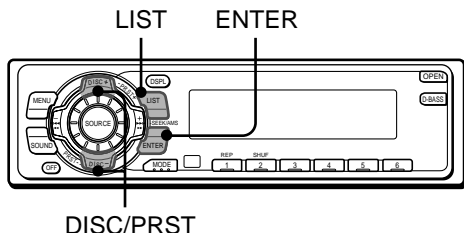
別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合に、名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。CDについてはディスクメモ機能(21ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

ご注意

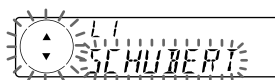
- ・「NO DISC」: ディスクが入っていない。
- ・「*****」: 名前が入っていない。
- ・別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターにのみ表示され、この操作はできません。くわしくは「CD/MDの情報を見る」(35ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

ボタンを押さないまま5秒が過ぎると、通常の表示に戻ります。



- 1 LISTボタンを短く押し
て名前を表示させる。



再生中のディスク名が点滅

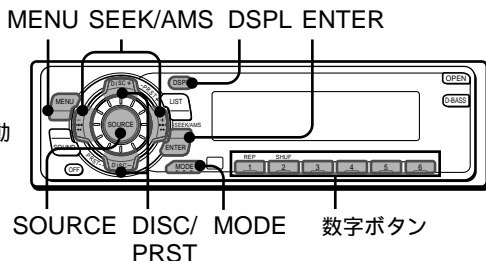
- 2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押し
て、聞きたいディスクの名前を表示させる。

- 3 ENTERボタンを押して再生する。

C
D
・
M
D

放送局を自動で登録する

受信できる放送局を数字の1～6ボタンに自動的に登録します。FM1、FM2(TV1～3チャンネルを含む)またはAM1、AM2のバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。



ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

2 MODEボタンを繰り返し押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すたびにFM1→FM2→AM1→AM2と切り換わりします。

3 MENUボタンを押す。

4 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して「BTM」にする。

5 ENTERボタンを押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)表示が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

登録した放送局を聞くには

1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

2 MODEボタンを繰り返し押して、「FM1」、「FM2」、「AM1」または「AM2」にする。

3 聞きたい放送局の数字ボタン(1～6)を押す。

ちょっと一言

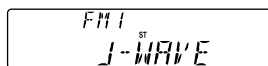
DISC/PRSTボタンを繰り返し押しても、登録した放送局を順番に選ぶことができます。

ちょっと一言

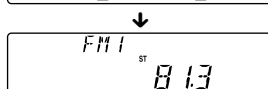
- 放送局の名前の登録のしかたについてくわしくは、30ページをご覧ください。
- DSPLボタンを押して表示を切り換えた約10秒後に、すべての表示を表示するモーションディスプレイモードに自動的になりません。

表示窓の見かた

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



放送局の名前*



周波数

* 名前を登録していない場合は、「NO NAME」と一時表示され、周波数表示になります。

旅先などで、登録した放送局が受信できないとき（自動選局を使う）

SEEK/AMSボタンを押します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して「LOCAL-OFF」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押して、「LOCAL-ON」を表示させる。
- 4 最後に、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「LOCAL-OFF」を選びます。

次のページへつづく

放送局を自動で登録する(つづき)

ちょっと一言

聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押し続けます。

ご注意

IF AUTOモードを「WIDE」にすると、雑音が入って放送が聞きにくくなる場合があります。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンの+側を繰り返し押しして「MONO-OFF」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押しして、「MONO-ON」を表示させる。
- 4 最後に、MENUボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「MONO-OFF」を選びます。

受信周波数を自動的に調整する (IF AUTOモード)

雑音が入って放送が聞きにくくなる場合、受信周波数の幅を自動的にせばめるためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもステレオで聞くことができます。

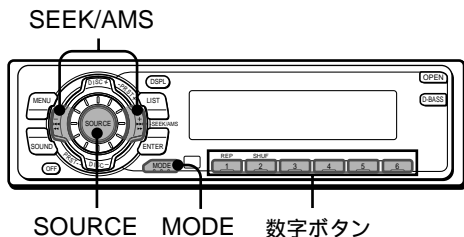
- 1 MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押しして「IF AUTO」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押しして「WIDE」を表示させる。
- 4 最後にENTERボタンを押す。

特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(26ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくくと便利です。

ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。



1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

2 MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。

AM
1620

4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

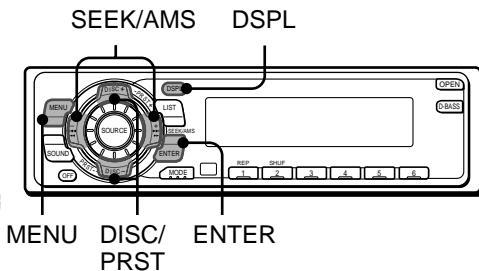
MEM
6 1620

押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



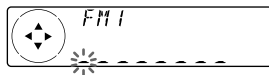
ちょっと一言

- 手順1、2の代わりにLISTボタンを2秒以上押しても設定をはじめることができます。
- DISC/PRSTボタンの+側を押すと
A → B → C → ...Z → 0
→ 1 → 2 → ...9 → + →
- → * → / → \ →
→ → . → _
と変わります。
- DISC/PRSTボタンの-側を押すと、逆順に表示されます。
- 文字をあけたいときは、
「 _ 」(下線)を入力します。
- 間違えたときは、SEEK/AMSボタンの-側を押して修正したい文字を点滅させて、正しい文字を入力します。
- 手順5の代わりにLISTボタンを2秒以上押しても設定を終えることができます

1 名前を付けたい放送局を受信中にMENUボタンを押す。

2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「NAME EDIT」を表示させる。

3 ENTERボタンを押す。

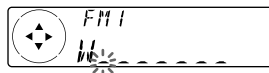


4 文字を入力する。

① DISC/PRSTボタンの+側を繰り返し押して文字を探す。



② 文字が見つかったら、SEEK/AMSボタンの+側を押す。



次の文字を入力できるようになります。

③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

5 最後に、ENTERボタンを押す。

ちょっと一言

「放送局に名前をつける」の手順4で、すべての文字に「 _ 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

名前を表示するには

DSPLボタンを押します。

くわしくは27ページをご覧ください。

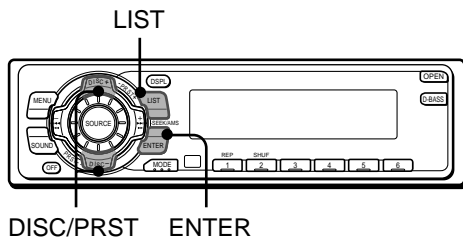
名前を消去するには

- 1 名前を消去したい放送局を受信中に、MENUボタンを押します。
- 2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「NAME DEL」を表示します。
- 3 ENTERボタンを押します。
- 4 ENTERボタンを2秒以上押します。
さらに他の名前を消すときは、手順1から4を繰り返します。
- 5 MENUボタンを2回押します。

放送局を名前で 探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探することができます。放送局に名前をつけるときは30ページをご覧ください。



ちょっと一言

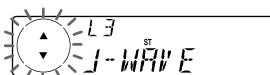
MENUボタンを押したり、何もボタンを押さないまま5秒を過ぎると、もとの表示に戻ります。

ご注意

別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターにのみ表示され、この操作はできません。くわしくは「ラジオ局・テレビ局の一覧を見る」(35ページ)をご覧ください。

1 LISTボタンを短く押す。

名前をつけていない場合は周波数が表示されます。



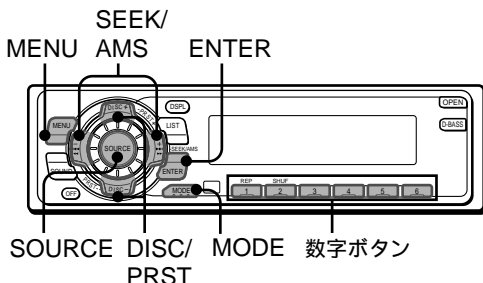
受信中の放送局の名前が点灯

2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して聞きたい放送局の名前を表示させる。

3 ENTERボタンを押して受信する。

別売りの テレビを見る

テレビを見るには、別売りのTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。



ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 「TV1」と「TV2」のそれぞれに6局ずつ合わせて12局まで登録できます。

* 表示はTVモニターの機種により異なります。

チャンネルを登録する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、TVにする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して「AUTO MEM」にする。
- 4 ENTERボタンを押す。
チャンネル順に数字ボタン1～6に割り当てられます。
TVモニターには「選局中」*などと表示されます。

次のページへつづく

別売りのテレビを見る(つづき)

ちょっと一言

DISC/PRSTボタンを繰り返し押ししても、登録したテレビ局を順番に選ぶことができます。

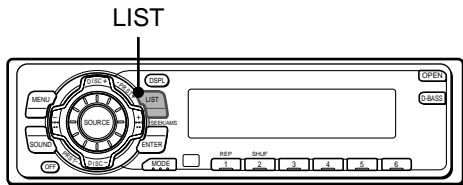
操作のしかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～6を押す。
強制的に モノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」 (28ページ)の操作をする。
特定のチャンネルを 登録するには	<ol style="list-style-type: none">1 SOURCEボタンを繰り返し押してTVにする。2 MODEボタンを繰り返し押して「TV1」または「TV2」にする。3 SEEK/AMSボタンを押して登録するテレビ局を受信する。4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。
テレビ局に 名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(30ページ)の操作をする(手順1では、「テレビ局」を選ぶ)。

放送局やディスク の情報をみる

(リスト)

登録したテレビチャンネルやラジオ局、ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(21ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



ちょっと一言

- 一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。
- モニター画面の表示は接続されるTVチューナーユニットにより異なります。

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

受信中にLISTボタンを短く押す。



表示を消すには

もう1度LISTボタンを押します。

ご注意

- TVチューナーユニット
XT-40Vをお使いの場合は
—MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
—名前はすべて大文字で表示されます。
- CD TEXTの内容は表示されません。

ちょっと一言

- LISTボタンを押すごとに
DISC LIST* → TRACK LIST** → 再生経過時間の表示に切り換わります。
* 別売りのMD機器を接続している場合
** MDを再生している場合
- 一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

CD/MDの情報をみる

再生中にLISTボタンを短く押す。



*1 MDの場合

*2 MDを再生している場合

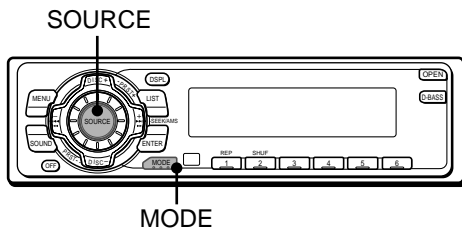
表示を消すには

もう1度LISTボタンを押します。

別売りのビデオ を見る

ビデオを見るには、別売りのビデオデッキおよびTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。

接続のときには、ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書をご覧ください。



ちょっと一言

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子に接続しているときは、「VIDEO2」表示に切り換えます。

1 SOURCEボタンを繰り返し押して、TVにする。

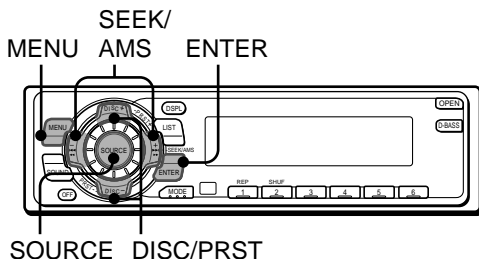
2 MODEボタンを繰り返し押して、「AUX」にする。

「AUX」が表示された直後に、表示が自動的に「VIDEO 1」に切り替わります。

3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

映像を見ながら ディスクを 聞く

(サイマルプレイ)



ご注意

- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

ちょっと一言

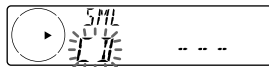
サイマルプレイ設定中、「VIDEO1」表示は「V1」となります。

1 CDまたはMD再生中に、MENUボタンを押す。

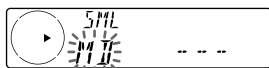
2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、「SML」を表示する。

3 ENTERボタンを押す。

4 SEEK/AMSボタンの
- 側を押す。



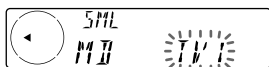
5 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



6 SEEK/AMSボタンの
+ 側を押す。



7 SOURCEボタンを
繰り返し押して、
「TV」または「V」表示
にする。

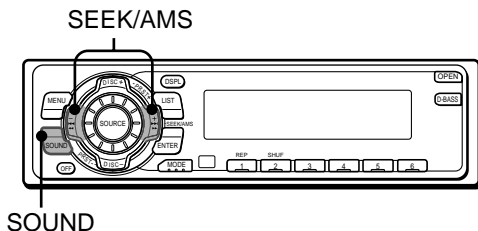


8 ENTERボタンを押す。
サイマルプレイが始まります。

サイマルプレイをやめるには
テレビまたはビデオを止めるには
手順6で「 - - - 」を選びます。
CDまたはMDを止めるには
手順4で「 - - - 」を選びます。

音のバランスや音質を設定する

(バランス/フェーダー)
(ベース/トレブル)

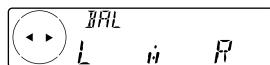


出力バランスを調節する

前後と左右のスピーカー出力のバランスを別々に調節することができます。

1 SOUNDボタンを繰り返し押し

押し続けて、「BAL」



または「FAD」にする。 バランス調節モード

左右を調節する「BAL」にする。

前後を調節する「FAD」にする。

2 SEEK/AMSボタンを押して出力バランスを調節する。

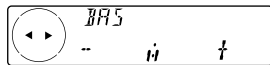
3秒後に通常のモードに戻ります。

音質を設定する

BAS(低音)とTRE(高音)はソースごとに調節できます。

1 SOUNDボタンを繰り返し押し

押し続けて、「BAS」



または「TRE」にする。 ベース調節モード

低音を調節する「BAS」にする。

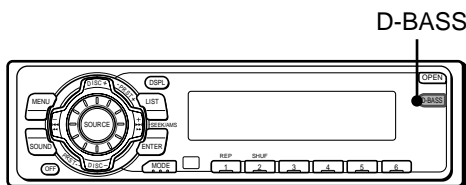
高音を調節する「TRE」にする。

2 SEEK/AMSボタンを押して音質を調節する。

3秒後に通常のモードに戻ります。

重低音を強調する

D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに、それに合わせて高音域も増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音とメリハリの効いた高音を楽しめます。

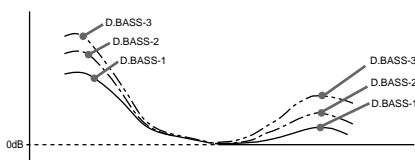


ご注意

音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASS設定や音量を聞きやすいように調整してください。

D-BASSボタンで低音を調節する

D-BASSボタンを繰り返し押して、1~3を選びます。数字が大きいほど低音と高音が強調されます。

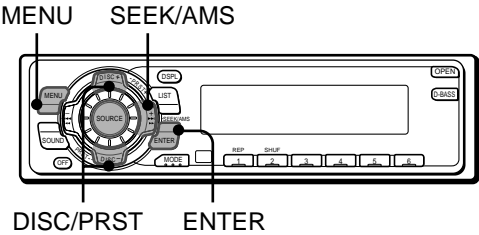


通常に戻すときは

D-BASSボタンを繰り返し押して「D.BASS-OFF」にしてください。

その他の操作

音や表示などの 設定を変える



設定の種類	設定内容
「SET」(セッティングのカテゴリー)	
「CLOCK」	時計の設定(9ページ)
「BEEP」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
「RM」	ロータリーコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。 「NORM」→ 初期設定の回転方向。 「REV」→ 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
「DIS」(ディスプレイのカテゴリー)	
「D.INFO」	常に時計表示をさせる。
「M.DSPL」	モーションディスプレイの設定をする。 「ON」→ 表示中にモーションディスプレイする。 「OFF」→ モーションディスプレイしない。
「A.SCRL」	CD TEXTやMDを再生したとき、またはディスクや曲を切り換えたとき、8文字以上のディスク名*1または曲名*2を自動的にスクロールします。 *1 表示がディスク名表示のとき *2 表示が曲名表示のとき

ご注意

表示項目はソースによって
異なります。

ちょっと一言

各設定項目は「SET」、
「DIS」、「P/M」、「EDT」の
4つのカテゴリーに分類さ
れています。DISC/PRST
ボタンを2秒以上押すと、
次のカテゴリーに移ること
ができ、項目を一つずつ順
番にたどっていくよりも、
目的の項目を速く選ぶこと
ができます。

設定を変える

1 MENUボタンを押す。

2 DISC/PRSTボタンを繰り返し押して、調節した
い項目に切り換える。

CLOCK → BEEP → RM → D.INFO^{*1} →
M.DSPL → A.SCRL^{*1*2}

*1 電源OFF状態のときは表示されません。

*2 ラジオ受信中は表示されません。

3 SEEK/AMSボタンの + 側を押して調節したい設定
にする。

(例: 「ON」または「OFF」)

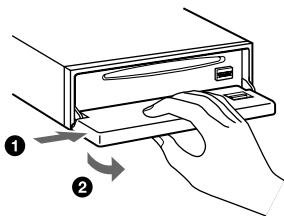
4 最後に、ENTERボタンを押す。

使用上のご注意

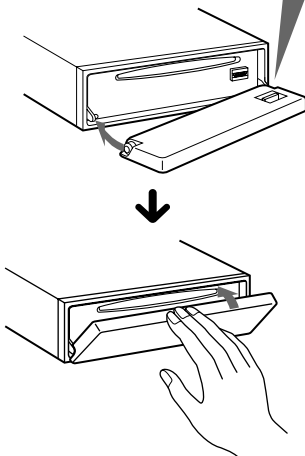
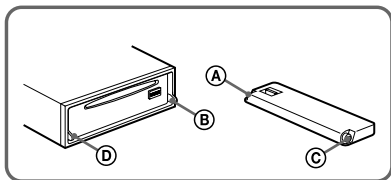
本機取り扱い

フロントパネルについて

取り外すときは必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押しながら手前に引くと外れます。



取り付けるときは、フロントパネルの(A)部分と本体の(B)部分を合わせて、フロントパネルを押し込み、フロントパネルの(C)部分と本体の(D)部分を合わせて取り付けます。

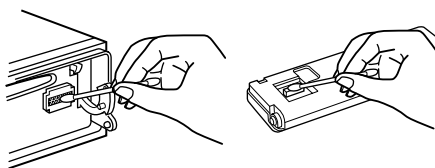


ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



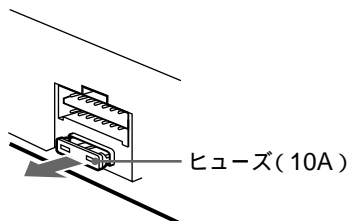
本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

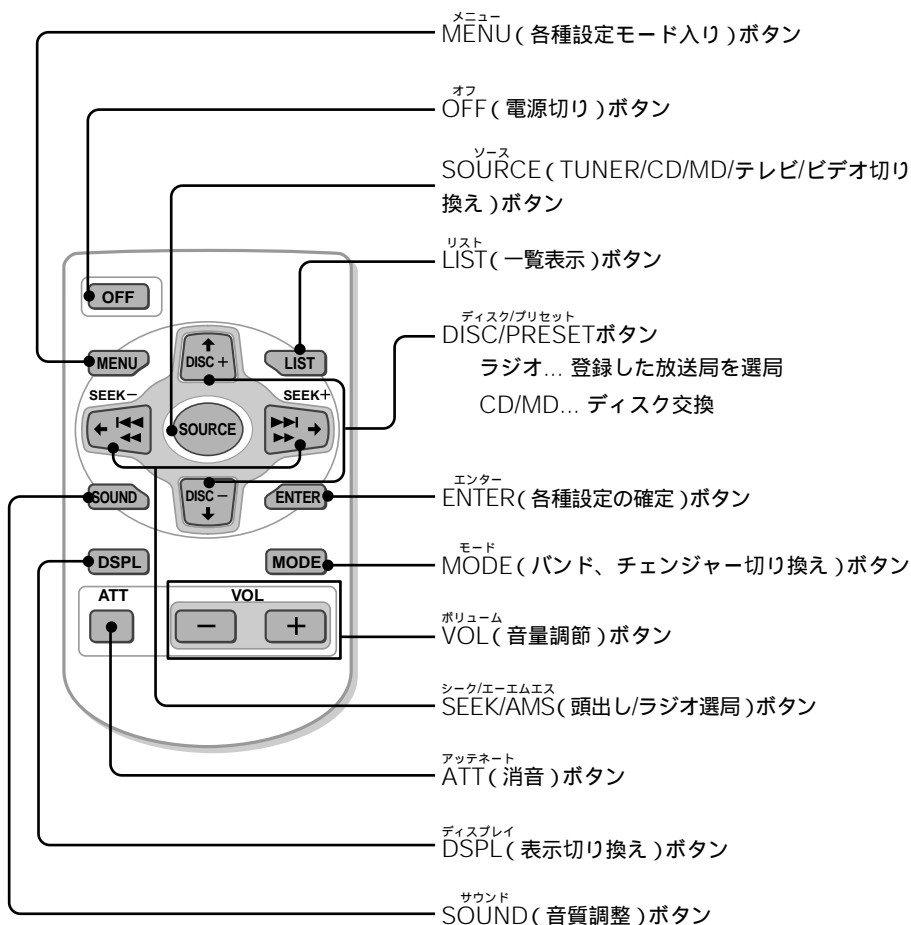
極端な高温または低温のところでは、表示が見つらなくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



カードリモコンRM-X91 (別売り)

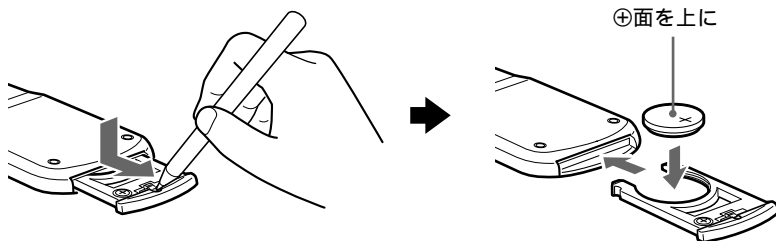


ご注意

本体のOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするには、まず本体のSOURCEボタンを押すか、ディスクを挿入して本機の電源を入れてください。

次のページへつづく

カードリモコンRM-X91(別売り)(つづき)



ボタン型リチウム電池を入れる

ボタン型リチウム電池CR2025を、⊕面を上にして正しく入れる。

ボタン型リチウム電池は、ふつうの使いかたで約1年間もちます。

ご注意

- カードリモコンの電源にはボタン型電池を使用しています。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、カードリモコンおよび電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ATT機能を解除してください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
電源OFF時に時計表示にならない。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押したためデモモードに入った。 →「音や表示などの設定を変える」(40、41ページ)で、「M.DSPL」をOFFにしてください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作電源コードまたはバッテリーを外した。電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → BEEPの設定(40、41ページ)を「ON」にしてください。
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">すでに別のディスクが入っている。ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上に入れてください。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。ディスクが傷ついている。本機の取り付け角度が60°を越えている。本機またはCD/MD機器が正しく固定されていない。
▲ボタンを押してもCDが出てこない。	<ul style="list-style-type: none">▲ボタンを押してCDが出てくる途中でフロントパネルを閉めたり、手で押し戻した。 → リセットボタンを押してください。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none">• パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブスターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。• カーアンテナとの接続を確認してください。• オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。• 周波数を確認してください。
SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none">• 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数しか受信しません。 → 「LOCAL-OFF」にしてください(28ページ)。• 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEK/AMSボタンを押し続けて周波数を合わせてください。

CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
ERROR	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
NO DISC	CD/MD機器にディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG DISCS	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO MAG	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
NO READY	MD機器のドアが開いているか、MDが正しく挿入されていない。	ドアを閉めるか、MDを正しく挿入する。
HI TEMP	周囲の気温が50℃を超えている。	周囲の気温が50℃以下になるまで待つ。

保証書と アフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM	
受信周波数	76～90MHz (テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	66dB(ステレオ) 72dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.6%(ステレオ) 0.3%(モノラル)
AM	
受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	50W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
----	---------------------------

トーンコントロール

	低音：±9dB(100Hz) 高音：±9dB(10kHz)
出力端子	フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 リモート入力端子、 ATT入力端子(ナビ用)

本体寸法	約178×50×183mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×162mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) フロントパネルケース(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	ロータリーコマンダー RM-X4S カードリモコン RM-X91 CDチェンジャー(10枚) CDX-838、CDX-737 MDチェンジャー(6枚) MDX-65 電源コード RC-118P ソースセクター XA-C30 バスケーブル(RCAピンコード 付属) RC-61(1m) RC-62(2m) バス延長コード RC-U305(0.5m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m) 電源コード RC-39

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更
することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

● Fax……………0466-31-2595

受付時間: 月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。